

第 1 1 5 回

# 中小企業景況調査報告書

〔平成20年 1月～ 3月期実績〕  
〔平成20年 4月～ 6月期予測〕

平成20年4月  
群馬県商工会連合会

# 中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

## 1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数……50% - 20% = 30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

## 2. 調査期間

今回は、平成20年3月5日を調査時点とし、期間は平成20年1月～平成20年3月期である。

## 3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

## 4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口:人) 平成17年12月1日現在	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
渋川市赤城 (11,935)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,610)	15	3	3	4	5
渋川市子持 (11,723)	15	4	5	3	3
吉岡町 (18,003)	15	3	3	4	5
上野村 (1,522)	15	4	3	4	4
富岡市妙義 (4,723)	15	4	3	4	4
東吾妻町 (14,494)	15	3	3	5	4
高山村 (4,342)	15	4	2	6	3
川場村 (4,191)	15	4	2	5	4
玉村町 (38,163)	15	3	3	4	5
合計 (構成比%)	150 (100%)	35 (23.3%)	30 (20.0%)	45 (30.0%)	40 (26.7%)
回答企業数	150	35	30	45	40
回収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※桐生市黒保根は、平成17年6月1日の人口

## 5. 業種別構成

### (1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	3	8.6
飲料	1	2.9
木材・木製品	3	8.6
家具・装備品	6	17.1
印刷業	1	2.9
プラスチック製品	1	2.9
窯業・土石製品	2	5.7
金属製品	2	5.7
一般機械器具	2	5.7
電気機械器具	1	2.9
情報通信機械器具	1	2.9
電子部品・デバイス	1	2.9
輸送用機械器具	4	11.3
精密機械器具	3	8.6
その他	4	11.3
合 計	35	100.0

### (2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	14	46.6
職別工事業	11	36.7
設備工事業	5	16.7
合 計	30	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
織物・衣服・身の品	3	6.7
飲食料品	22	48.8
自動車・自転車	3	6.7
家具・什器・機械器具	3	6.7
その他小売業	14	31.1
合 計	45	100.0

(4) サービス業







業 種 内 訳	企業数	構成比%
一般飲食店	13	32.5
宿泊業	6	15.0
その他の教育・学習支援	1	2.5
専門サービス	3	7.5
洗濯・理容・美容・浴場	7	17.5
その他の生活関連	2	5.0
娯楽業	2	5.0
自動車整備業	4	10.0
その他	2	5.0
合 計	40	100.0

## 群馬県全産業の景況概況









































今期（平成20年1月～3月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：8.6→▲8.6、建設業：▲36.7→▲29.9、小売業：▲35.5→▲42.2、サービス業：▲35.0→▲25.0となった。製造業はプラスからマイナスに転じて悪化傾向、建設業は回復傾向、小売業は悪化傾向、サービス業は回復傾向であった。製造業はマイナスに転じたとはいえ薄曇、建設業、サービス業は曇、小売業は雨の景況となった。

来期（平成20年4月～6月期）予想では、製造業は▲8.6→▲5.7、建設業は▲29.9→▲26.7と若干回復の見通し、小売業は▲42.2→▲26.7と大幅な回復の見通し、サービス業は▲25.0→▲32.5で再び悪化する見通しとなった。

### 凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

### 売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成 17 年度	平成 18 年度				平成 19 年度				平成 20 年度
	1～3月	4～6 月	7～9月	10～12 月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月	4～6月
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業										

平成 20 年 3 月 1 日付群馬経済研究所発表資料では、県内の全体的な景気状況を「**県内景気は、緩やかな回復を続けているが、そのテンポは落ちている。**」としている。

〔個人消費〕⇒大型小売店販売が前年比で微増、乗用車販売も増加に転じ、やや持ち直し。

12 月の百貨店・スーパー合計の大型小売店売上高（新設店含み）は、衣料品、雑貨が前年比で減少した一方、食料品は増加し、総体で微増ながら 4 カ月連続で前年を上回った。

既存店ベースでは、総体で前年比 1.8%減と 2 カ月連続のマイナスとなった。

1 月の乗用車販売は、前年比 1.5%増と 3 ヶ月ぶりに前年を上回った。内訳は普通車が 7 カ月連続でプラス、小型車が 28 カ月連続でマイナス、軽乗用車は 2 カ月連続でプラス。

〔生産活動〕⇒鉱工業生産指数は前月比で上昇に転じ、底堅く推移。

12 月の鉱工業生産指数は、前月比（季節調整済指数）で 1.6%上昇し、前年比（原指数）では 1.7%低下した。

前月比では、化学工業（医薬品製剤）、一般機械工業（プレス用金型、自動販売機）などが上昇した一方で、輸送機械工業（普通乗用車、自動変速装置）、電気機械工業（半導体・IC 測定器）などが低下。

輸送機器は、自動車生産が登録車フルモデルチェンジに伴う切り替えで減少し、3 か月ぶりに前年を下回った。

電気機器は、半導体・電子部品が前年比で堅調に推移。一方、業務用製品は生産水準を落としている。

繊維は、桐生繊維で主力の婦人服地の受注が前年並み。太田ニットは、大幅なマイナス基調。

〔住宅投資〕⇒新設住宅着工戸数は 3 カ月連続で前年水準を下回り、低下している。

12 月の新設住宅着工戸数は 1,327 戸、前年比 30.2%減と 3 ヶ月連続のマイナス。改正建築基準法の影響もあり、弱含んでいる。

主力の持家が着工戸数 575 戸、前年比 11.8%減と 10 ヶ月連続のマイナス。

貸家は着工戸数 538 戸、前年比 27.7%減と 3 ヶ月連続のマイナス。

分譲住宅は着工戸数 212 戸、前年比 57.6%減と 3 カ月連続のマイナス。うちマンションは 78 戸で 75.6%減、一戸建は 134 戸で 25.6%減。

〔公共投資〕⇒請負金額は 3 カ月連続で前年を上回ったものの、低調に推移。

1 月の公共工事請負金額は前年比 7.4%増と 3 ヶ月連続で前年を上回った。内訳は独立行政法人、県、市町村、地方公社が前年比プラスの一方、国などがマイナス。

〔雇用情勢〕⇒有効求人倍率は 6 カ月ぶりに前年を上回ったが、雇用改善に一部弱さがみられる。

12 月の有効求人倍率（季節調整値）は前月を 0.04 ポイント上回る 1.57 倍となり、全国 2 位を維持した。

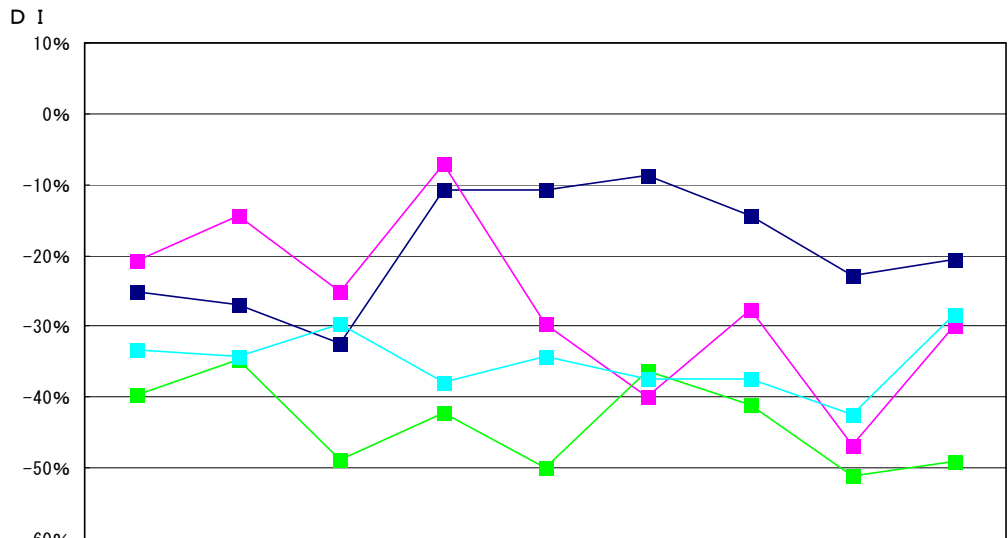
新規求人数は、前年比 9.9%減とマイナスに転じた。卸・小売業がプラスの一方で、サービス業、製造業、飲食店、宿泊業などはマイナス。新規求職者数は前年比 8.4%減。

〔企業倒産〕⇒件数は前年同月比 2 件減少の 8 件、負債総額は 17 億 6 千万円。

1 月の企業倒産は 8 件で前年比 2 件の減少、負債総額が 86.7%減の 17 億 6 千万円。

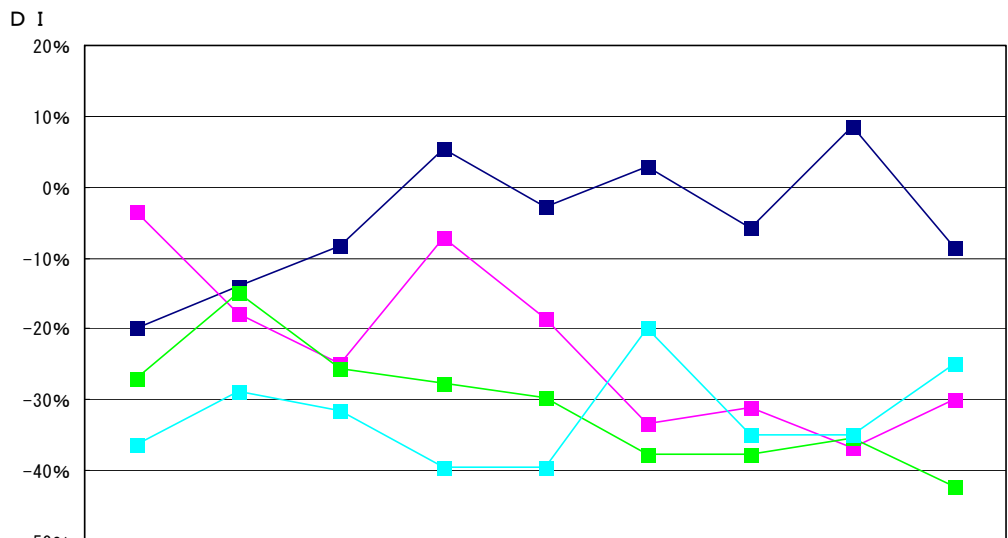
業種別では、建設業が 3 件、小売業が 2 件、製造業、運輸業、サービス業が各 1 件。

### 全産業の業況（自社）推移－前年同期比－



	H18/1~3	H18/4~6	H18/7~9	H18/10~12	H19/1~3	H19/4~6	H19/7~9	H19/10~12	H20/1~3
■ 製造業	-25.0	-27.0	-32.4	-10.8	-10.8	-8.6	-14.3	-22.9	-20.6
■ 建設業	-20.7	-14.3	-25.0	-7.1	-29.7	-40.0	-27.6	-46.7	-30.0
■ 小売業	-39.6	-34.8	-48.9	-42.3	-50.0	-36.4	-41.0	-51.2	-49.0
■ サービス業	-33.4	-34.2	-29.7	-37.8	-34.2	-37.5	-37.5	-42.5	-28.2

### 全産業の売上高推移－前年同期比－



	H18/1~3	H18/4~6	H18/7~9	H18/10~12	H19/1~3	H19/4~6	H19/7~9	H19/10~12	H20/1~3
■ 製造業	-20.0	-13.9	-8.2	5.4	-2.7	2.9	-5.7	8.6	-8.6
■ 建設業	-3.4	-17.8	-25.0	-7.2	-18.6	-33.4	-31.0	-36.7	-29.9
■ 小売業	-27.0	-14.9	-25.5	-27.7	-29.7	-37.8	-37.7	-35.5	-42.2
■ サービス業	-36.4	-28.9	-31.6	-39.4	-39.5	-20.0	-35.0	-35.0	-25.0